



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社
 コード番号 6625 URL <http://www.jalco-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜井 稔

TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	84	22.9	1		18		373	567.6
29年3月期第1四半期	109	39.9	36	16.9	29	61.1	55	70.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 370百万円 (635.6%) 29年3月期第1四半期 50百万円 (53.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.66	
29年3月期第1四半期	1.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	6,096	3,676	60.1	73.17
29年3月期	6,753	3,106	45.8	63.98

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,653百万円 29年3月期 3,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	200	7.8	30	57.1	5	90.6	450	675.9	9.31
通期	550	31.6	180	56.5	80	5.9	500	224.7	10.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	50,092,132 株	29年3月期	48,337,132 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	344 株	29年3月期	344 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	48,706,184 株	29年3月期1Q	48,336,808 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が増加するなど景気は緩やかな回復がみられるものの、海外では、北朝鮮・中東情勢の地政学的リスクや欧州・米国の政治動向リスクなど、その先行きは不透明な状況にあります。

このような状況において、当社グループは、引き続きパチンコホール企業を主たるお客様として、不動産賃貸、貸金などを行うアミューズメント事業に経営資源を集中し、業容の拡大及び収益力の強化に取り組んでおります。

貸金業におきましては、当社子会社である株式会社ジャルコ（以下、「ジャルコ」といいます。）において行なっているソーシャルレンディングサービスの第3号案件が順調に進んでおります。

不動産賃貸事業におきましては、当第1四半期連結累計期間における新規の取得はございませんが、引き続き収益性、安全性について慎重な検討を行い、事業用不動産の取得を計画しております。また、大田区西蒲田の不動産に関しましては、平成29年5月2日に譲渡手続きが完了いたしました。なお、当第1四半期連結累計期間末におけるパチンコホール向け賃貸用不動産の保有明細は、以下のとおりとなっております。

取得年月	所在地	資産の内容	簿価	賃貸先
平成25年11月	神奈川県川崎市	土地	15億98百万円	株式会社マルハン
平成28年6月	高知県高知市	土地	3億24百万円	株式会社マルハン
平成28年12月	青森県弘前市	土地	4億86百万円	株式会社マルハン

以上のように貸金事業、不動産賃貸事業ともに順調に推移はしているものの、ジャルコにおいて大田区西蒲田の賃貸用不動産を売却したことで賃貸収入が減少したことなどにより、当第1四半期連結累計期間における売上高は84百万円（前年同期比22.9%減）、営業損失は1百万円（前年同期は36百万円の営業利益）となりました。

営業外損益につきましては、平成27年3月期通期決算におきまして、電子機器用部品事業の譲渡代金の残額に対して貸倒引当金を計上しましたが、そのうち5百万円を受領したことなどにより、営業外収益6百万円を計上しました。これに対して、支払利息13百万円に加えて大田区西蒲田の不動産売却に伴って、当該不動産の取得資金としての借入金を全額返済したことで借入手数料5百万円が発生したことなどにより、営業外費用23百万円を計上しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経常損失は18百万円（前年同期は29百万円の経常利益）となりました。

また、特別利益につきましては、大田区西蒲田の不動産を売却したことにより、諸費用差引後の固定資産売却益5億32百万円を計上しました。

これらに加えて、法人税、住民税及び事業税77百万円、繰延税金資産の一部が実現したことで法人税等調整額62百万円を計上したことなどにより、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は3億73百万円（前年同期比567.6%増）となりました。

[セグメント情報]

詳細は、9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」のとおりですが、主たる報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(貸金事業)

当事業部門におきましては、不動産担保に加えて、銀行等金融機関では対応が難しいと考えられる遊技機他パチンコホール企業が保有する動産を担保資産として評価できることを強みとして、パチンコホール企業向けのニーズに対応した貸付案件を実行するとともに、パチンコ業界以外の事業者に対する貸付案件につきましても、収益性、回収可能性等を慎重に吟味した上で、取り組みを行っております。この結果、売上高は35百万円（前年同期比32.3%減）、セグメント利益は32百万円（前年同期比29.4%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当事業部門におきましては、いずれも業界最大手である株式会社マルハンの新規出店用地として取得した底地（神奈川県川崎市、高知県高知市及び青森県弘前市）を、長期事業用定期借地契約に基づき賃貸しております。西蒲田の物件売却により賃料収入が減少しましたが、前期取得した高知市および弘前市の賃料収入の貢献により、売上高は48百万円（前年同期比14.3%減）、セグメント利益は25百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して9億44百万円増加し32億円となりました。これは主に、不動産の売却により現金及び預金8億91百万円が増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して16億円減少し28億96百万円となりました。これは主に、大田区西蒲田の不動産を売却したことにより建物及び構築物81百万円、土地14億29百万円が減少したことなどによるものであります。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して6億56百万円減少し60億96百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して11億82百万円減少し4億23百万円となりました。これは主に、大田区西蒲田の不動産を売却ことに伴い、取得資金としての借入金の残金を全額返済したことにより1年以内返済予定の長期借入金10億9千万円が減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して44百万円減少し19億97百万円となりました。これは主に、約定返済の進行に伴い長期借入金12百万円、信託長期借入金15百万円各々が減少したことに加えて、大田区西蒲田の不動産を売却するに伴い、テナントから預かっていた保証金を返却したことにより長期預り保証金23百万円が減少したことなどによるものであります。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比較して12億26百万円減少し24億20百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して5億70百万円増加し36億76百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金マイナス2百万円を計上したことに対して、新株予約権の行使により、資本金と資本剰余金が各々1億1百万円増加したこと、当第1四半期連結累計期間において、親会社株主に帰属する四半期純利益3億73百万円を計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、平成29年5月19日発表「平成29年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	454,092	1,345,640
信託預金	61,759	61,833
営業貸付金	1,712,756	1,743,000
未収入金	16,376	5,784
未収収益	2,623	2,734
繰延税金資産	1,897	31,738
その他	6,625	9,794
流動資産合計	2,256,131	3,200,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	105,945	24,346
工具、器具及び備品(純額)	2,036	1,261
土地	2,386,202	957,149
信託土地	1,598,004	1,598,004
有形固定資産合計	4,092,189	2,580,762
無形固定資産		
ソフトウェア	25,599	23,803
電話加入権	284	284
無形固定資産合計	25,883	24,087
投資その他の資産		
投資有価証券	269,927	265,963
破産更生債権等	174,803	174,803
長期未収入金	98,716	93,566
差入保証金	24,725	24,600
繰延税金資産	83,477	—
その他	864	836
貸倒引当金	△273,520	△268,370
投資その他の資産合計	378,995	291,400
固定資産合計	4,497,068	2,896,250
資産合計	6,753,199	6,096,776

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	18,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	1,139,711	48,792
1年内返済予定の信託長期借入金	63,000	63,000
未払金	12,652	6,392
信託前受金	11,017	11,017
前受金	224,035	6,055
匿名組合預り金	123,417	123,404
未払法人税等	10,475	89,387
預り金	3,410	4,974
流動負債合計	1,605,719	423,023
固定負債		
長期借入金	679,349	667,151
信託長期借入金	1,275,000	1,259,250
長期預り保証金	34,550	10,614
信託預り保証金	33,051	33,051
繰延税金負債	19,420	27,194
固定負債合計	2,041,370	1,997,260
負債合計	3,647,090	2,420,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,884,157	1,985,175
資本剰余金	3,936,709	4,037,727
利益剰余金	△2,772,161	△2,399,097
自己株式	△41	△41
株主資本合計	3,048,664	3,623,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,004	41,254
その他の包括利益累計額合計	44,004	41,254
新株予約権	13,440	11,474
純資産合計	3,106,109	3,676,492
負債純資産合計	6,753,199	6,096,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	109,709	84,589
売上原価	7,766	6,546
売上総利益	101,942	78,043
販売費及び一般管理費	65,240	79,875
営業利益又は営業損失(△)	36,701	△1,831
営業外収益		
受取賃貸料	1,694	1,671
貸倒引当金戻入額	12,725	5,150
レンタル代金受領益	3,285	—
その他	126	90
営業外収益合計	17,832	6,911
営業外費用		
支払利息	16,708	13,796
賃貸不動産経費	400	399
為替差損	7,765	150
借入手数料	—	5,024
その他	648	3,733
営業外費用合計	25,522	23,103
経常利益又は経常損失(△)	29,011	△18,023
特別利益		
固定資産売却益	—	532,915
貸倒引当金戻入額	7,858	—
関係会社清算損失引当金戻入額	3,457	—
特別利益合計	11,316	532,915
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	40,327	514,891
匿名組合損益分配額	2,983	1,226
税金等調整前四半期純利益	37,344	513,665
法人税、住民税及び事業税	2,709	77,977
法人税等還付税額	△24,471	—
法人税等調整額	3,226	62,624
法人税等合計	△18,535	140,601
四半期純利益	55,880	373,063
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,880	373,063

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	55,880	373,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,833	△2,750
為替換算調整勘定	△702	—
その他の包括利益合計	△5,536	△2,750
四半期包括利益	50,344	370,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,344	370,313

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第2回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第1四半期連結累計期間において資本金が101,017千円、資本準備金が101,017千円それぞれ増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,985,175千円、資本剰余金が4,037,727千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	52,340	57,051	109,391	318	109,709	—	109,709
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	52,340	57,051	109,391	318	109,709	—	109,709
セグメント利益	46,086	24,375	70,461	318	70,779	△41,767	29,011

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料であります。
2. セグメント利益の調整額△41,767千円は、内部取引消去額14,710千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,478千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	35,433	48,898	84,331	258	84,589	—	84,589
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	35,433	48,898	84,331	258	84,589	—	84,589
セグメント利益 又は損失(△)	32,557	25,688	58,246	258	58,504	△76,528	△18,023

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△76,528千円は、内部取引消去額6,054千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△82,582千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。